

## 7.2 工場実地技術指導

都内中小企業の要請により、複数の職員または職員と外部指導員が現地に出向き技術指導を行った。平成15年度は総数1,103社、指導内容は製品開発に関するものが319件で最も多く、企業規模は20人以下の企業が406社(36.8%)であった。

平成15年度実績は次のとおりである。

指導内容	企業数 (カッコ内%)	指導事項の例
公害	6 (0.5)	・排水中のほう素の除去法について
環境・福祉	34 (3.1)	・屋上緑化用吸水性土壌について ・在宅用歩行器の開発と製品化
製品安全	34 (3.1)	・シュリーレン用風洞窓ガラスの耐圧力
省力・省エネ/資源	10 (0.9)	・電気設備用特殊電源の省エネ化設計・開発
品質向上	129 (11.7)	・オーガニックコットンの品質向上について ・高強度鉄鋼材料の表面処理の効果について ・冷間鍛造用工具の高精度化技術 ・超音波洗浄機の騒音対策 ・シェニール織物の染色堅牢度
評価技術	115 (10.4)	・溶接機用電源制御装置の電流検出 ・繊維染色品の評価試験方法 ・六価クロムフリークロメート皮膜の評価方法について ・ブロックゲージを用いた寸法測定について ・金属製建築部材の品質試験
管理技術	48 (4.4)	・電線製造用計測器の計測管理 ・オーガンジー素材の品質管理について
生産性	17 (1.5)	・電子機器生産ラインの効率化
新技術利用	50 (4.5)	・DLCコーティング工具によるドライ加工の実現 ・外燃機関を用いた廃棄物ガス化発電システムの開発
新素材利用	18 (1.6)	・桐ダンスの付加価値の向上等
製品開発	319 (28.9)	・備長炭入りポリエステル繊維製品について ・省エネルギー性、環境性に優れた超高速シーム溶接機の研究開発 ・衝撃力を使った粉末プレス機の開発について ・微小流路チップの開発について ・溶融型小型焼却炉の開発 ・圧入ケーソン工事の簡易化(高度化) ・電子部品用基板清掃機の開発 ・ニットによる指サック作成の自動化について
加工技術	100 (9.1)	・パイプ端面の成形技術 ・樹脂によるスクリューの加工について ・ワイシャツの仕上げ加工について ・三宅火山灰プリントについて
デザイン	62 (5.6)	・シュリンク包装機のデザイン ・「解し」技法による広幅織物のデザイン
ソフトウェア	31 (2.8)	・ウェブサイトのアナライズ機能の研究開発
分析技術	14 (1.3)	・放電による生成物の分析について
放射線技術	57 (5.2)	・R I 廃棄物処理技術について ・規制免除レベル対応の密閉線源について
その他	59 (5.4)	・和装の市場や消費者の動向 ・販路開拓
計	1,103 (100.0)	

(従業員数別企業内訳)

人数	20人以下	21~50人	51~100人	101~300人	301人以上	協会・団体等	不明	合計
企業数 (カッコ内%)	406(36.8)	197(17.9)	74(6.7)	109(9.9)	29(2.6)	69(6.3)	219(19.8)	1,103 (100.0)

### 7.3 開放試験

中小企業の新製品開発や品質の向上を支援するため、各種の測定器、試験設備等を設置し、企業に開放するとともに技術指導を行った。

平成15年度開放試験の試験項目及び実績件数・金額は次のとおりである。

開放試験項目	件数	金額(円)
指示計器(交流電圧・直流・交流電圧電流計)	27	1,610
定数測定器・測定用素子(インピーダンス・ミリオーム・摺動抵抗器・可変抵抗減衰器)	44	7,410
電圧・周波数測定器(デジタルボルトメータ・マルチメータ)	32	10,060
信号発生器及び発信器(ノイズシミュレータ・静電気障害試験器)	796	415,420
校正装置(直流、交流電圧電流・変性、倍率、分流器)	21	6,630
波形測定器及び記録装置(オシロスコープ・温度記録計)	263	78,380
電源装置その他(電圧調整器・直流定電圧電源)	112	14,640
試験機械(万能試験機・硬さ試験機)	442	263,100
測定機器(投影器・粗さ測定器・顕微測定器・測定器具)	87	49,230
環境試験機器(低温恒温恒湿槽・冷熱衝撃試験装置・振動試験・衝撃試験機・雷サージ)	3,985	9,073,990
試験機器(粘弾性スペクトロメータ・pH計・耐電圧試験器・デジタル・ソルダークラフ)	49	82,300
記録解析機器(放射電界測定器・FFTアナライザ・実時間分析器)	16	24,560
観察機器(X線顕微鏡)	13	23,870
加工機器(プリント配線板試作装置・CAD/CAMシステム)	20	54,920
繊維計測機器(自動強伸度試験・定温乾燥機・走査型電子顕微鏡・サーモグラフィー)	1,745	1,618,320
染色試験・生産加工機器(ウインス染色機・工業用ミシン・転写なせん装置・ニードルパンチ機)	861	780,090
その他の試験機器(デザイン作成システム・整経機・コンピュータ制御編機)	243	309,720
合 計	8,756	12,814,250

### 7.4 オープン・ラボ

中小企業と協力、共同して、製品・技術開発等を行うインキュベーション機能を有するオープン・ラボを2室開設し、研究開発型企業の育成、共同開発研究等の支援を行った。

平成15年度は、次のような共同研究を促進する目的に利用した。

室名	事業名	課題名	期間
ラボ・	地域コンソーシアム研究開発	高性能水素吸蔵合金及びその製造装置の開発	6月～9月
			9月～12月
	受託事業	イオン注入による鉄鋼材料の硬化処理技術	7月～10月
			11月～1月
都政対応	三宅村農業生産施設検討委員会	2月～3月	
ラボ・	受託事業	血管内造影剤注入シリンジの強度解析	7月～8月
			9月～11月
	共同開発研究	制振材料を利用した低騒音型超音波洗浄機の開発	11月～2月

## 7.5 施設利用による技術指導

駒沢庁舎（放射線利用施設）では、放射線利用の新技术、放射線測定、放射線を安全に利用するための知識・技術などの技術指導を行った。平成15年度の実績は次のとおりである。

普通指導	19件	91,010円
特別指導	88件	888,400円

## 7.6 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源の乏しい中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供しあい、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が、有効な手段の一つとなる。そこで、こうした交流を促進するための支援策として、新グループを発生させる、1) グループ形成支援、発足しているグループ間の連携を促進させる、2) グループ間交流支援の2施策を行った。

### 1) グループ形成支援

産業技術研究所では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を昭和59年度から毎年1グループ、平成10年度と平成11年度は2グループを発足させている。現在20グループ約320社の会員が活動している。

平成15年度は、技術課題グループを公募により結成し、専門の助言者を配置して定例会を開催したほか、技術交流を促進するために、工場見学を実施した。平成15年度の開催実績は次のとおりである。

日時	会議名	参加者数
7 / 22	技術課題グループ ( 発会式・定例会 )	36
8 / 19	技術課題グループ ( 定例会 )	27
9 / 16	技術課題グループ ( 定例会 )	21
10 / 14	技術課題グループ ( 定例会 )	22
11 / 11	技術課題グループ ( 定例会 )	21
12 / 18	技術課題グループ ( 定例会 )	20
1 / 20	技術課題グループ ( 定例会・見学会 )	15
2 / 17	技術課題グループ ( 定例会 )	18
4 / 20	技術課題グループ ( 総会・定例会 )	22

### 2) グループ間交流支援

#### (1) 東京都異業種交流グループ グループ協議会の開催

既存グループの活動状況を報告し合い、互いのグループ活動の参考にするとともに、グループ間の交流を促進する目的で開催した。平成15年度の開催実績は次のとおりである。

日時	会議名	参加者数
5 / 27	グループ協議会	23

(2) 東京都異業種交流グループ 合同交流会・合同交流会実行委員会の開催

グループ間の交流を深めるために、年1回、全グループのメンバーが一堂に会する合同交流会を開催し、ポスターセッション、特別講演、成果事例発表等を行った。開催に当たっては、各グループから選任された委員により合同交流会実行委員会を設置した。平成15年度の合同交流会・合同交流会実行委員会の開催実績は次のとおりである。

日 時	会 議 名	参加者数
7 / 10	合同交流会実行委員会 (第1回)	25
8 / 7	合同交流会実行委員会 (第2回)	23
9 / 11	合同交流会実行委員会 (第3回)	11
10 / 9	合同交流会実行委員会 (第4回)	12
11 / 13	合同交流会実行委員会 (第5回)	10
1 / 15	合同交流会実行委員会 (第6回)	11
2 / 12	合同交流会実行委員会 (第7回)	17
3 / 10	合同交流会 (都民ホール・都政ギャラリーで開催)	214
3 / 18	合同交流会実行委員会 (第8回)	13

(3) 旧異業種交流グループへの支援

すでに自主運営に移行している旧19グループについても、希望グループに対する連携担当者の設置、会議室の利用、技術的内容の講演依頼への対応等、グループ活動の支援を行ってきた。平成15年度、旧異業種交流グループの当所利用、定例会等の実施数は次のとおりである。

実 施 数	
回 数	のべ参加者数
69	788

(4) ものづくりネットワーク促進室の活用

(a) 設置目的

国の「地域融合化促進事業」により、当所に融合化のための情報交換・諸会議開催機能を有するものづくりネットワーク促進室を設置し、交流促進を図る。

(b) ものづくりネットワーク促進室の概要

産業技術研究所の近在である城北地域のグループまたは、企業、及び産業労働局商工部と当所で共同設置したグループ(平成15年度20グループ)の活動拠点とする。

(c) 運営及び管理

開室日及び時間 当所休日を除く9時～17時

利用申し込み方法 来所または電話予約

運営管理部所 企画普及課 技術情報交流係

(d) 利用実績

利 用 数		
件 数	企 業	参加者数
17	153	162

## 7.7 ものづくり情報通信技術融合化支援センター

技術進歩の激しい今日にあって、中小企業が生き抜いていくためには先端的な技術を中心に主体性を持った研究開発を行う必要がある。当所では、平成12年度に中小企業総合事業団の委託「ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業」により整備した機器を活用し、中小企業への技術研修、受託事業、共同研究を行い中小企業の技術力の向上を図った。

事業名	内容	実績
3次元CAD/CAM/CAEシステムを用いた機械器具製造業のためのIT融合化支援研修プロジェクト	3次元CADシステムが急速に発展しているが、機械系中小製造業における3次元CADと情報通信技術への取り組みは緒についたばかりである。そこで、大企業とのデジタルデバイドの早期解消のために、中小企業事業団の平成12年度委託事業（補正予算）「ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業」によりCAD/CAM/CAE研修設備を整備し、3次元CADと情報通信技術融合促進について研修を行った。	研修 13件 （延べ38日間） 技術指導 3件

## 7.8 技術アドバイザー指導事業

東京都技術アドバイザーとして、高度な専門知識および経験を有する専門家を産業労働局長が登録し、中小企業の製品開発あるいは製造工程などについて、技術指導を行った。

業種	企業数	日数	主な指導内容
化学工業	5	42	ハロゲンフリーの難燃性接着剤開発について
窯業・土砂	3	17	紫外線透過ガラスの性能評価と材料選択について
金属製品	15	210	マグネシウム材の絞り加工について
一般機械	5	60	排ガス処理装置の開発について
電気機械	8	47	ISO 9001の取得について
精密機械	8	75	超音波による接着技術について
繊維工業	4	88	新規ブランドの開発について
その他の産業	12	105	マットの吸音特性の改善について
個人	1	10	溶融紡糸鉱石入り繊維製品の開発について
合計	61	654	

### 規模別（従業員数別）企業数

20人以下	21～50人	51～100人	101～300人	301人以上	その他 (組合等)	合計
33	14	5	7	1	1	61

## 7.9 業種別技術協議会・分科会

研究、指導等の事業計画を策定するにあたり、必要かつ的確な技術情報を把握するための会議である。業界の代表者を招き、情報の交換等を技術協議会（全体会議）および技術分科会（分科会議）で行った。

### 1) 業種別技術協議会

業 界 名	開 催 日	出 席 者	内 容
区内ニット・染色・伝統産業界	H15.7.9	業界側 17名 都側 14名	所及び局事業の説明を行い、ニット・染色・伝統産業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
都内アパレル関連業界	H15.7.10	業界側 12名 都側 11名	所及び局事業の説明を行い、アパレル関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
都内ファッション関連業界	H15.7.14	業界側 11名 都側 10名	所及び局事業の説明を行い、ファッション関連業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
多摩繊維業界	H15.7.23	業界側 20名 都側 14名	所及び局事業の説明を行い、多摩繊維業界の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
東京都鍍金工業組合関連業界	H15.8.6	業界側 11名 都側 15名	所及び局事業の説明を行い、東京都鍍金工業組合の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。

### 2) 業種別技術分科会

業 界 名	開 催 日	出 席 者	内 容
東京都健康福祉研究会	H15.4.17	業界側 16名 都側 6名	所の事業説明を行い、研究会の活動や健康福祉機器業界の現状について意見交換を行った。
強化プラスチック協会	H15.4.18	業界側 11名 都側 4名	強化プラスチック技術に関する情報や人材育成について意見交換し、所の事業説明および設備紹介を行った。
化学工学会総合研究機構ナノマテリアルセンター	H15.5.13	業界側 8名 都側 3名	ナノマテリアル技術の現状や今後の方向性について意見交換し、所の技術および設備紹介を行った。
電気工事関係安全衛生協力会	H15.7.10	業界側 11名 都側 4名	所の事業説明を行い、JIS改正にともなう業界の技術的課題について意見交換を行った。
静電植毛技術研究会	H15.8.26	業界側 12名 都側 5名	所の事業紹介、設備紹介および静電植毛加工業界の現状説明を行い、意見交換を行った。

業 界 名	開 催 日	出 席 者	内 容
東京クリーニング生活衛生同業組合	H15. 9 .17	業界側 11名 都側 5名	所の研究成果について説明を行い、組合の活動状況や技術的問題点について意見交換を行った。
日本医療器材工業会	H15. 9 .19	業界側 20名 都側 4名	医療用インプラント材料に関する情報交換を行い、業界の抱える技術上の課題等について意見交換を行った。
日本技術士会省エネ相談チーム	H15. 9 .19	業界側 18名 都側 4名	所の事業紹介を行い、相談事例等について意見交換を行った。
フィラー研究会	H15. 9 .26	業界側 22名 都側 3名	放射線遮へい材開発研究について情報提供し、業界の抱える技術上の課題について意見交換を行った。
日本衛生材料工業連合会	H15.10.21	業界側 13名 都側 3名	衛生材料の滅菌に関する情報交換を行い、業界の抱える技術上の課題について意見交換を行った。
日本医療用縫合糸協会	H15.11.14	業界側 12名 都側 3名	医療用縫合糸の素材に関する情報交換を行い、業界の抱える技術上の課題について意見交換を行った。
東部金属熱処理工業組合	H15.11.19	業界側 15名 都側 6名	ドライ加工技術や技術相談事例の技術紹介を行い、金属熱処理業界における技術課題について意見を交換した。
東京鼈甲組合連合会	H15.12.12	業界側 28名 都側 6名	鼈甲業界の課題である「鼈甲の割れおよび艶引け防止技術」について意見交換・検討を行った。
超音波応用懇談会	H16. 1 .21	業界側 13名 都側 3名	所の事業を紹介し、懇談会の現況や業界における技術的課題について意見交換を行った。
東京温度検出端工業会	H16. 1 .23	業界側 30名 都側 5名	所の事業内容を説明し、工業会と情報交換し、温度標準の管理方法に関する意見交換を行った。
照明技術研究会	H16. 1 .28	業界側 11名 都側 5名	所の事業および施設を紹介し、照明器具業界の現状と技術的課題について意見交換を行った。
センサ技術研究会・信頼性技術研究会	H16. 3 .17	業界側 27名 都側 6名	センサ技術および信頼性技術に関する講演並びに所の事業を紹介し、技術的課題について意見交換・討議を行った。

## 7.10 研修・講習会

中小企業の技術者の技術能力の向上と中小企業の発展を図ることを目的として、材料、加工、電子、計測・分析、資源環境、情報、放射線応用、繊維・ファッションなどの各分野における最新の工業技術、繊維技術をテーマとした各種の研修・講習会を開催した。

研修講習会等 応募者・受講者数

種別	名 称	担 当 の G・課・室	募 集 定 員	応 募 者 数	受 講 者 数	規 模				
						日数	講義時間	実習時間	合計時間	昼夜
高等 専門 研修	工業材料の分析と評価	材 料	20	25	23	16	24	36	60	昼夜
	ものづくりのための加工技術	精密加工	20	26	22	10	30	30	60	昼夜
	電子技術	電 子	20	28	21	10	24	36	60	昼夜
	情報化時代のJava活用技術	情 報	20	20	16	9	18	22	40	昼夜
	資源環境技術	資 源	10	11	11	10	3	27	30	昼
	アパレル製品企画のためのCG活用（第1回）	アパレル	6	8	5	1	2	4	6	昼
	アパレル製品企画のためのCG活用（第2回）	アパレル	6	9	5	1	2	4	6	昼
	高等専門研修の合計 7件		102	127	103	57	103	159	262	-
分野 別 専門 研修	はじめての表面処理	表 面	20	42	23	5	15	15	30	昼
	測定器具の使用方法和精度管理	精密加工	10	28	12	1	2	4	6	昼
	エレクトロニクス製品開発のための信頼性技術	電 子	20	25	20	5	15	15	30	昼
	最近の照明と光利用技術	計 測	20	30	26	5	18	12	30	昼
	製品開発における電気的安全性とIT化技術	電 気	20	22	21	5	12	18	30	昼夜
	ホームページ作成とWebサーバ運用技術	情 報	20	26	21	2	6	6	12	昼
	インターネット個人利用におけるセキュリティ	情 報	10	13	10	1	3	3	6	昼
	放射線測定の基礎（第1回）	放 射 線	10	26	12	1	1	3	4	昼
	放射線測定の基礎（第2回）	放 射 線	10	9	9	1	1	3	4	昼
	3次元CAD入門（第1回）	製品科学	18	31	18	2	2	8	10	昼
	3次元CAD入門（第2回）	製品科学	18	25	19	2	2	8	10	昼
	入門者のための3次元CAD/CAM体験 （第1回）	精密加工	18	23	18	3	2	13	15	昼
	入門者のための3次元CAD/CAM体験 （第2回）	精密加工	18	21	18	3	2	13	15	昼
	入門者のための3次元CAD/CAM体験 （第3回）	精密加工	18	21	18	3	2	13	15	昼
	3次元CAD/CAM実践	製品科学	18	26	18	4	2	18	20	昼
	3次元CAD/CAEによる構造解析	製品科学	18	34	18	3	4	11	15	昼
	3次元CAD/CAE入門	製品科学	18	22	18	1	1	4	5	昼
	繊維製品の評価技術(第1回)	墨 田	10	15	10	1	2	4	6	昼
	繊維製品の品質評価（応用）	八 王 子	10	14	10	1	1	3	4	昼
	無線通信利用による製品開発	情 報	10	12	11	1	3	3	6	昼
	放射線測定の基礎（第3回）	放 射 線	10	10	10	1	1	3	4	昼
	繊維製品の評価技術（第2回）	墨 田	10	6	5	1	2	4	6	昼
分野別専門研修の合計 22件		334	481	345	52	99	184	283	-	

種別	名 称	担 当 の G・課・室	募 集 定 員	応 募 者 数	受 講 者 数	規 模				
						日数	講義 時間	実習 時間	合計 時間	昼夜
新 技 術 セ ミ ナ	放射線安全取扱技術	安 全	60	82	67	1	6	0	6	昼
	温度測定の基本と実際	評 価	60	158	142	1	6	0	6	昼
	先端化学計測による評価技術	材 料	60	41	38	1	6	0	6	昼
	薄肉ダイカストの製造技術と勘どころ	表 面	60	108	89	1	6	0	6	昼
	電解研磨技術および新しい研磨技術	表 面	60	118	96	1	6	0	6	昼
	粉末冶金	表 面	60	107	86	1	6	0	6	昼
	ドライ加工技術	精密加工	60	104	93	1	6	0	6	昼
	赤外線・紫外線利用技術	計 測	60	65	57	1	6	0	6	昼
	放射線の人体影響	精密分析	60	38	32	1	6	0	6	昼
	環境試料分析における前処理と標準物質	精密分析	60	53	44	1	6	0	6	昼
	クリーン環境技術	電 気	60	74	54	1	7	0	7	昼
	福祉機器の開発と最近の動向	電 気	60	69	55	1	6	0	6	昼
	医療・福祉機器の電気的安全性と製品開発	電 気	60	143	121	1	7	0	7	昼
	大気浮遊粒子の計測と制御	放 射 線	60	32	22	1	6	0	6	昼
	製品開発とデザイン ユニバーサルデザインの導入と活用	製品科学	60	115	102	1	6	0	6	昼
	最近の環境規制とその対策	資 源	60	75	62	1	6	0	6	昼
	国内外アパレル生産の現状と工業用マシンについて	アパレル	50	67	52	1	4	0	4	昼
	アパレルデザイン ヨーロッパファッション情報(2004～2005年秋冬)	アパレル	50	77	61	1	4	0	4	昼
	デザイン情報 2004 - 2005年秋冬 ファッション・トレンド情報	アパレル	50	92	70	1	4	0	4	昼
	光触媒技術と繊維製品への利用	ニ ッ ト	50	96	68	1	4	0	4	昼
繊維製品の消費科学 繊維製品の快適性とその評価	ニ ッ ト	50	45	35	1	4	0	4	昼	
繊維製品のクレーム防止 衣料用特化素材の開発動向	墨 田	50	43	35	1	4	0	4	昼	
繊維製品の品質評価(基礎)	八 王 子	30	33	33	1	1	5	6	昼	
2004年秋冬ファッション予測	テキスタイル	50	48	43	1	4	0	4	昼	
新技術セミナーの合計 24件			1460	1883	1557	24	127	5	132	
総 計 53件			1896	2491	2005	133	329	348	677	

研修名・日程等

( ) 高等専門研修

1. 電子技術

月 日	科 目	講 師	
6月26日	アナログ回路設計法(1)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	東京都立産業技術研究所	職 員
6月27日	アナログ回路設計法(2)	山崎技術士事務所	山崎 浩
	(実習)電子回路シミュレーション技術	東京都立産業技術研究所	職 員
6月30日	I/O制御用シングルチップマイコン		渡邊 耕士
	(実習)I/O制御のためのプログラミング	東京都立産業技術研究所	職 員
7月1日	電子部品活用技術	東京都技術アドバイザー	染谷 克明
	(実習)I/O制御のためのプログラミング		職 員
7月3日	信号処理技術		三上 和正
	(実習)テーマ センサ技術		職 員
7月4日	EMC技術	東京都立産業技術研究所	寺井 幸雄
	(実習)テーマ センサ技術		
7月7日	(実習)テーマ DSPによる信号処理		職 員
7月8日	(実習)テーマ EMC測定法と対策法		
7月10日	マイクロマシンのセンサへの応用	(株)横河総合研究所	原田 謹爾
	(実習)テーマ 総合演習	東京都立産業技術研究所	職 員
7月11日	オプトエレクトロニクス	東京都技術アドバイザー	笹岡 逞二
	(実習)テーマ 総合演習	東京都立産業技術研究所	職 員

2. ものづくりのための加工技術

月 日	科 目	講 師	
6月30日	塑性加工	都立産業技術研究所	片岡 征二
	最近の高速精密プレスと自動化	アイダエンジニアリング(株)	八木 隆
7月1日	切削加工	都立産業技術研究所	横澤 毅
	研削加工	元(独)産業技術総合研究所	和井田 徹
7月3日	放電加工	都立産業技術研究所	山崎 実
	機械材料の特性	元 都立産業技術研究所	佐々木武三
7月4日	精密測定技術	都立産業技術研究所	樋田 靖広
	新加工技術総論	東京工科大学	福井 雅彦
7月7日	(実習)材料試験	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)加工部品の精密測定		
7月8日	(実習)粉末冶金	東京都技術指導員	谷貝 忠
	(実習)旋削加工		
7月10日	(実習)研削加工	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)金属プレス		
7月11日	(実習)放電加工	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)三次元座標測定機		
7月14日	(実習)エンミドル加工技術		
	(実習)マイクロ放電加工		
7月15日	超音波応用加工	日本工業大学	神 雅彦
	熱処理と表面改質	都立産業技術研究所	仁平 宣弘

### 3. 工業材料の分析と評価

月 日	科 目	講 師	
9月29日	所内見学	都立産業技術研究所	職 員
	機能性有機材料	コニカフオットイメ ーシング(株)	田中 真理
9月30日	無機分析概論	東京理科大学	田中 龍彦
	金属材料と組成分析	千葉大学	小熊 幸一
10月1日	表面分析概論	千葉工業大学	坂本 幸弘
	有機分析概論	埼玉大学	佐藤 勝
10月2日	プラスチックの劣化と廃棄物処理	都立産業技術研究所	山本 真
	ガラス材料	東京工業大学	山根 正之
10/9-11/12 (実 習)	1. 有機材料の分析と評価(液体クロマトグ ラフ分析法・有機元素分析法・赤外分光 分析法・他5)	都立産業技術研究所	職 員
	2. 無機材料の分析と評価(試料観察法・蛍 光X線分析法・走査型電子顕微鏡観察 法・他4)		
	3. 金属材料の分析と評価(アーク発光分析 法・X線回析法・熱分析法・他)		

### 4. アパレル製品企画のためのCG活用

月 日	科 目	講 師	
10月15日	Macの基本操作(Windowsとの違いを中心 に)	都立産業技術研究所	大橋 健一 小高久丹子 秋田 実
	CG作成の基礎(解像度、ファイル形式等) (実習)4D-box		
	(実習)Illustrator		職 員
	(実習)Photoshop		

### 5. アパレル製品企画のためのCG活用

月 日	科 目	講 師	
10月17日	Macの基本操作(Windowsとの違いを中心 に)	都立産業技術研究所	大橋 健一 小高久丹子 秋田 実
	CG作成の基礎(解像度、ファイル形式等) (実習)4D-box		
	(実習)Illustrator		職 員
	(実習)Photoshop		

## 6．情報化時代のJava活用技術

月 日	科 目	講 師	
10月27日	Java言語の利用分野	東京電気大学	坂本 直志
	オブジェクト指向言語を用いたソフトウェア設計	日本大学	吉川 浩
10月30日	Java言語の基礎 基本文法・制御構文	ピセ(株)	鈴木 智
10月31日	Java言語の基礎 クラスとメソッド		
11月4日	(実習)オブジェクト指向によるソフトウェア開発	都立産業技術研究所	職 員
11月6日	(実習)Javaアプリケーション開発(1)		
11月7日	(実習)Javaアプリケーション開発(2)		
11月10日	(実習)アプリケーションの開発効率化(Ant)		
11月11日	(実習)サーバサイドJava(1)		
11月13日	(実習)サーバサイドJava(1)		

## 7．資源環境技術

月 日	科 目	講 師	
11月6日	有害物質対策の実務	星野技術士事務所	星野 芳明
11/8-11/28	(実習グループ)環境負荷低減技術と環境分析(排水中のふっ素処理・SEM/EDXによる観察・重金属の原子吸光測定・他)	都立産業技術研究所	職 員
	(実習グループ)建材・塗料・接着剤を対象とした住環境の評価(パーティクルボード及び合板の製造・他)		

### ( ) 分野別専門研修

それぞれの業種が抱える固有の課題に対し、実習を通して実践的な解決手段を提供するとともに、現場に必要な新しい技術の修得を図る。(情報・コンピュータに関する知識、技術の実践的な修得を含む。)

### 1．3次元CAD入門(第1回)

月 日	科 目	講 師	
6月12日	CAD基本操作1	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	(実習)CAD演習1	都立産業技術研究所	職 員
6月13日	CAD基本操作2	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	(実習)CAD演習2	都立産業技術研究所	職 員

### 2．3次元CAD/CAE入門

月 日	科 目	講 師	
6月26日	3次元CAD/CAE概要	都立産業技術研究所	松田 哲
	3次元CADの基本操作		園田 卓
	応力解析の基礎(CAEシミュレーション)		大久保富彦

### 3. 入門者のための3次元CAD/CAM体験(第1回)

月 日	科 目	講 師	
7月2日	CAD概論・CADの基本操作	キャノンシステムソリューションズ㈱	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
7月3日	CAM概論・CAMの基本操作	キャノンシステムソリューションズ㈱	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
7月4日	(実習)CAD演習・CAD/CAM総合演習	都立産業技術研究所	職 員
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年

### 4. 入門者のための3次元CAD/CAM体験(第2回)

月 日	科 目	講 師	
9月17日	CAD概論・CADの基本操作	キャノンシステムソリューションズ㈱	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
9月18日	CAM概論・CAMの基本操作	キャノンシステムソリューションズ㈱	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
9月19日	(実習)CAD演習・CAD/CAM総合演習	城東地域中小企業振興センター	森 紀年

### 5. ホームページ作成とWebサーバ運用技術

月 日	科 目	講 師	
9月18日	インターネットの仕組みとサーバの機能	都立産業技術研究所	横田 裕史
	(実習)サーバ機能の設定		職 員
9月19日	(実習)ホームページデータ作成編集		
	(実習)ホームページの編集とFTPによるデータ更新		

### 6. エレクトロニクス製品開発のための信頼性技術

月 日	科 目	講 師	
9月25日	信頼性概論と環境試験法	城南地域中小企業振興センター	三上 和正
	(実習)パソコンによる統計・データ解析	城南地域中小企業振興センター	三上 和正
		都立産業技術研究所	職 員
9月26日	(実習)パソコンによる信頼性データ解析 ワイブル・MTBFの推定	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)分析・検査機器による故障解析 マイクロフォーカスX線透過・ノイズ試験等		
10月1日	電子機器の製品安全技術	日本電気㈱	井原 惇行
	(実習)分析・検査機器による故障解析 オージェ分析・赤外線分光分析等	都立産業技術研究所	職 員
10月2日	電子機器・部品の故障解析	楠本化成㈱	小林 吉一
	(実習)分析・検査機器による故障解析 超音波顕微鏡・電子顕微鏡等	都立産業技術研究所	職 員
10月3日	プリント基板のはんだ付け評価	東京都技術アドバイザー	山本 繁晴
	品質保証と環境マネジメントシステム		

7. 最近の照明と光利用技術

月 日	科 目	講 師	
10月21日	照明の基礎	都立産業技術研究所	岩永 敏秀
	色彩の基礎		實川 徹則
	最新のLEDの開発動向	山口大学	田口 常正
10月23日	照明器具の温度測定	都立産業技術研究所	中島 敏晴
	最近のディスプレイ開発動向	(株)日立ディスプレイズ	長江 慶治
	赤外線・紫外線の利用	府中市工業技術情報センター	笹森 宣文
10月28日	測光機器の原理と測定ノウハウ	(株)トプコン	戸沢 均
	(実習)各種測定器による光の測定技術	都立産業技術研究所	職 員
10月30日	光源と照明器具の測定技術		千代田工販(株)
	光源の技術開発動向	河本康太郎	
	東西あかり文化と照明デザインの軌跡	日本大学	山家 哲雄
11月4日	(実習)照度計及び輝度計による測定技術	(株)トプコン	野田 啓
	(実習)測色計活用の実際	ミノルタ(株)	鶴川 浩一

8. 入門者のための3次元CAD/CAM体験(第3回)

月 日	科 目	講 師	
10月22日	CAD概論・CADの基本操作	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
10月23日	CAM概論・CAMの基本操作	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
		城東地域中小企業振興センター	森 紀年
		都立産業技術研究所	職 員
10月24日	(実習)CAD演習・CAD/CAM総合演習	城東地域中小企業振興センター	森 紀年

9. 放射線測定の基礎(第1回)

月 日	科 目	講 師	
10月29日	放射線測定機器の基礎と測定の実際	都立産業技術研究所	櫻井 昇
	(実習)X線を利用した線量測定/ 線照射装置等を利用した線量測定		職 員

10. 3次元CAD入門(第2回)

月 日	科 目	講 師	
10月30日	CAD基本操作1	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	CAD演習1	都立産業技術研究所	職 員
10月31日	CAD基本操作2	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	CAD演習2	都立産業技術研究所	職 員

11. はじめての表面処理

月 日	科 目	講 師	
11月11日	表面処理概論	都立産業技術研究所	棚木 敏幸
	電気めっき		土井 正
11月13日	無電解めっき / めっきの品質試験		水元 和成
	アルミニウムの表面処理		荻 正勝
	塗装技術		木下 稔夫
11月17日	鋼の熱処理による表面処理		仁平 宣弘
	ドライコーティングによる表面処理		三尾 淳
	イオン注入による表面処理		内田 聡
	ドライコーティング膜の評価法		森河 和雄
11/19, 11/21	電気めっきと無電解めっき		職員
	アルミニウムの陽極酸化		
	真空を利用した表面処理		
	皮膜評価		

12. 3次元CAD/CAM実践

月 日	科 目	講 師	
11月13日	3次元CADの概要	都立産業技術研究所	松田 哲
	(実習)部品、アセンブリ操作の基本	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	(実習)設計テーブル		
(実習)型モデルの作成 パーティンングラインによるコア・キャビティ分割			
11月14日	(実習)IGESインポート	都立産業技術研究所	職員
	(実習)口フトフィーチャの作成		
	(実習)型モデルの作成 パーティンング面によるコア・キャビティ分割		
	(実習)CAD演習		
11月20日	3次元CAMの概要	キャノンシステムソリューションズ(株)	鈴木富士雄
	(実習)CAMの基本操作(2軸・3軸加工定義)	キャノンシステムソリューションズ(株)	高野 弘明
	(実習)仕上げ加工パターンの検証(さまざまな加工パターン)	城東地域中小企業振興センター	森 紀年
11月21日	(実習)CAM演習	都立産業技術研究所	職員
	(実習)CAD/CAM総合演習 (形状作成からNCプログラムによる加工まで)	城東地域中小企業振興センター 都立産業技術研究所	森 紀年 職員

13. 製品開発における電気的安全性とIT化技術

月 日	科 目	講 師	
11月19日	電気製品開発時の安全対策	(財)電気安全環境研究所	松澤 孝司
	漏れ電流の測定技術	都立産業技術研究所	岡野 宏
	熱電気ノイズの発生と影響事例		殿谷 保雄
11月20日	制御システムの安全と信頼性の向上		坂巻佳壽美
	ワンチップマイコンPICの概要から応用事例まで	重松 宏志	
	PIC-BASICによる制御プログラムの基礎	栗原 秀樹	
11/25,	(実習)PICを利用したアナログ電圧・温度の測定	職員	
11/27,	(実習)赤外線無線通信によるDCモータのPWM制御		
11/28	(実習)シリアル通信(RS232C)と各種LED表示器の制御		

14. 放射線測定の基礎(第2回)

月 日	科 目	講 師	
11月26日	放射線測定機器の基礎と測定の実際	都立産業技術研究所	櫻井 昇
	(実習)X線を利用した線量測定/ 線照射装置等を利用した線量測定		職員

15. 3次元CAD/CAEによる構造解析入門

月 日	科 目	講 師	
12月3日	3次元CAD/CAEの概要	都立産業技術研究所	松田 哲
	SolidWorksの基本操作		園田 卓
	(実習)SolidWorksによる形状モデリング		職員
	(実習)DesignSpaceによる構造解析の基本		
12月4日	有限要素法の基礎	都立産業技術研究所	松田 哲
	ANSYSによる構造解析の概要		大久保富彦
	(実習)DesignSpace,ANSYSによる構造解析の基本		職員
12月5日	(実習)DesignSpaceによる解析の実際	サイバネットシステム(株)	浅見 久恵
	(実習)ANSYSによる解析の実際		

16. 繊維製品の評価技術(第1回)

月 日	科 目	講 師	
12月4日	物性試験の概要 クレーム事例の紹介と解説	都立産業技術研究所	大泉 幸乃
	(実習)外観変化試験方法		職員

17. インターネット個人利用におけるセキュリティ

月 日	科 目	講 師	
12月10日	インターネットの仕組みと危険	都立産業技術研究所	土屋 敏夫・北原 枢
	インターネットを安全に利用する為に		北原 枢・土屋 敏夫

18．無線通信利用による製品開発

月 日	科 目	講 師
1月22日	無線LANの正しい設定方法と製品開発	都立産業技術研究所
	(実習)無線LANの設定方法	
	(実習)開発環境構築と無線通信機能の組み込み技術	
		佐藤 正利 職 員

19．繊維製品の評価技術(第2回)

月 日	科 目	講 師
1月29日	物性試験の概要 クレーム事例の紹介と解説	都立産業技術研究所
	(実習)外観変化試験方法	
		大泉 幸乃 職 員

20．測定器具の使用方法和精度管理

月 日	科 目	講 師
1月30日	測定器具の精度管理	都立産業技術研究所
	(実習)測定器具の使用方法和精度管理	
		樋田 靖広 職 員

21．繊維製品の品質評価(応用)

月 日	科 目	講 師
2月12日	繊維鑑別上問題点のある繊維と品質表示法の指定用語について	(財)綿スフ織物検査協会
	(実習)繊維鑑別試験/燃焼法・顕微鏡法・薬品溶解法	都立産業技術研究所
		大久保愛二 職 員

22．放射線測定の基本(第3回)

月 日	科 目	講 師
2月25日	放射線測定機器の基本と測定の実際	都立産業技術研究所
	(実習)X線を利用した線量測定/ 線照射装置等を利用した線量測定	
		櫻井 昇 職 員

( ) 新技術セミナー

個々の中小企業者が抱える固有の課題に対し、新しい技術情報や周辺情報を提供することで、課題解決に寄与する。

1．放射線安全取扱技術

月 日	科 目	講 師
5月21日	放射線の基本	都立産業技術研究所
	放射線安全取扱に関する法令	
	密封線源の安全取扱	
	非密封R Iの安全取扱	
	放射線の人体に与える影響	
		武藤 利雄 宮崎 則之 鈴木 隆司 小山 元子 金城 康人

2．温度計測の基本と実際

月 日	科 目	講 師
6月27日	温度計測の基本と最近の動向	玉川大学
	温度の測定とよくある質問	都立産業技術研究所
	温度計測におけるトラブル対策	石福金属興業(株)
		後藤 昌彦 尾出 順 宮下 誠一

### 3. 繊維製品の品質評価 (基礎)

月 日	科 目	講 師	
7月3日	(実習)繊維物性試験コース	都立産業技術研究所	職 員
	(実習)染色堅牢度試験コース		

### 4. 2004年秋冬ファッション予測

月 日	科 目	講 師	
9月3日	2004-2005年秋冬ファッションと求められる素材の方向性	東洋紡ファッション プランニングインター ナショナル	車 純子
	テキスタイル・ものづくりの方向性	都立産業技術研究所	藤田 茂香 宮本

### 5. 製品開発とデザイン ユニバーサルデザインの導入と活用

月 日	科 目	講 師	
9月18日	これからの製品開発とユニバーサルデザイン	都立産業技術研究所	三好 泉
	事例で見るユニバーサルデザイン		阿保友二郎
	新規規格JIS(ISOガイド71)とUD製品と開発	匠デザイン事務所	佐藤 俊夫

### 6. クリーン環境技術

月 日	科 目	講 師	
9月19日	クリーンルームシステムの概要と利用分野ー 食品、医療、医薬、ナノテック	(株)日立空調システム	北林 厚生
	クリーンルーム用機器から発生するダスト及 びオゾン	都立産業技術研究所	殿谷 保雄
	放電型光触媒による環境浄化技術	(株)東芝 家電機器社	服部 隆雄
	オゾンの生体への影響	産業生態研究所	山口 裕

### 7. 繊維製品のクレーム防止 衣料用特化素材の開発動向

月 日	科 目	講 師	
9月25日	繊維の熱分析	都立産業技術研究所	添田 心
	繊維製品のクレーム事例		関口 敏昭
	衣料用特化素材の開発動向	御幸毛織(株)	原田 隆司

### 8. 福祉機器の開発と最近の動向

月 日	科 目	講 師	
10月20日	障害者のニーズと福祉用具	都立産業技術研究所	河村 洋
	繊維製品の試験と産技研の解放試験機器		岩崎 謙次
	ユニバーサルデザインの現状と動向		三好 泉
	福祉機器開発のポイント	星城大学	畠山 卓朗

### 9. アパレルデザインヨーロッパ・ファッション情報(2004～2005年・秋冬)

月 日	科 目	講 師	
10月30日	2004～2005秋冬 モーダ・イン、プルミエール・ヴィジョン解説	(株)インファス & NTT ネットワーク	中出 順子
	2004年 スタイリング・トレンド予測	都立産業技術研究所	秋田 実
	CD-ROM素材集「柄集」の紹介と配布		大橋 健一

10. 大気浮遊粒子の計測と制御

月 日	科 目	講 師	
11月13日	放射線障害防止法令改正の最新動向	都立産業技術研究所	北原 明治
	ディーゼル車規制と粒子状物質による大気汚染の改善	東京都環境局	山本 宗一
	ディーゼル車規制における粒子状物質削減技術		小野谷眞司
	粒子状物質測定における湿度影響低減対策	元東京都環境科学研究所	青木 一幸
	今後の粒子状物質測定技術の進展	都立産業技術研究所	伊瀬 洋昭

11. 国内外アパレル生産の現状と工業用ミシン針について

月 日	科 目	講 師	
11月19日	国内外アパレル生産の現状	文化服装学院	正田 康博
	いいモノを作る製造技術(工業用ミシンと針の関係について)	オルガン針(株)	間島 清明

12. 赤外線・紫外線利用技術

月 日	科 目	講 師	
11月26日	赤外放射の基礎と応用	都立産業技術研究所	中島 敏晴
	紫外放射の基礎と最近の利用技術	岩崎電気(株)	木下 忍
	赤外放射と紫外放射の人体への影響	千代田工販(株)	河本康太郎
	赤外線サーモグラフィの科学技術応用	大阪大学	阪上 隆英

13. 放射線の人体影響

月 日	科 目	講 師	
12月10日	人体影響の事例とあらわれ方	都立産業技術研究所	金城 康人
	重粒子線を用いたがん治療	(独)放射線医学総合研究所	辻 比呂志
	非密封放射性同位元素を用いたがん治療	都立産業技術研究所	宮崎 則幸
	放射線と老化	(財)東京都老人総合研究所	鈴木 捷三

14. 繊維製品の消費科学 繊維製品の快適性とその評価

月 日	科 目	講 師	
1月26日	電磁波シールド素材のアパレル製品への応用技術	都立産業技術研究所	松澤 咲佳
	繊維製品の快適性とその評価	信州大学	西松 豊典

15. デザイン情報 2004～2005年秋冬ファッション・トレンド情報

月 日	科 目	講 師	
2月5日	2004-2005年秋冬マーチャндаイジング・ディレクション	ファッション・ディレクター	中村 芳道
	2004-2005年秋冬アパレルデザイン	都立産業技術研究所	嶋 明

16. 医療・福祉機器の電気的安全性と製品開発

月 日	科 目	講 師	
2月12日	医療・福祉機器の安全性と製品開発情報	都立産業技術研究所	岡野 宏
	薬事法のポイントと許認可の最新情報	(財)医療機器センター	添田 直人
	医療機器のEMC法制化と対策	日本医療機器関係団体協議会	谷川 廣治
	地域に根ざした医療・福祉・介護をめざして	社会福祉法人社団晴山会	平山登志夫

17. 先端化学計測による評価技術

月 日	科 目	講 師	
2月17日	微量元素のスペシエーション分析法の現状とその将来	群馬大学	角田 欣一
	中性子放射化分析法による先端材料から文化財資料の評価	武蔵工業大学	平井 昭司
	グロー放電質量分析法とヘリウムプラズマイオン源の開発	(独)物質・材料研究機構	伊藤 真二
	高分解能ICP質量分析装置を用いた材料評価技術	都立産業技術研究所	上本 道久

18. ドライ加工技術

月 日	科 目	講 師	
2月18日	切削加工の新潮流	都立産業技術研究所	西岡 孝夫
	最近の超精密工作機械	(株)牧野フライス製作所	金谷 潤
	切削専用解析ソフトウェアを用いた切削加工シミュレーション	(株)CRCソリューションズ	大西 慶弘
	最近の切削油剤と洗浄技術	ユシロ化学工業(株)	大橋 康正
	表面処理工具の新潮流	都立産業技術研究所	仁平 宣弘
	最近のセラミックス工具	東芝タンガロイ(株)	高橋 俊行

19. 電解研磨技術および新しい研磨技術

月 日	科 目	講 師	
2月20日	電解研磨の基礎及びアルミニウムの研磨	都立産業技術研究所	筵 正勝
	ステンレス鋼の電解研磨の実際(1)	(株)中野科学	中野 信男
	ステンレス鋼の電解研磨の実際(2)		
	電解砥粒研磨加工	(独)産業技術総合研究所	清宮 紘一
	新しい研磨技術“磁気研磨”	宇都宮大学	進村 武男

20. 最近の環境規制とその対策

月 日	科 目	講 師	
2月24日	環境リスクと法規制を睨んだ21世紀の経営戦略	星野技術士事務所	星野 芳明
	排水中のほう素・ふっ素・窒素の処理	都立産業技術研究所	小坂 幸夫
	東京都における土壌汚染の実態と対策	東京都環境局	京田 光男
	土壌汚染対策法の施工状況と今後の動向	(財)土壌環境センター	佐藤 雄也

21. 光触媒技術と繊維製品への利用

月 日	科 目	講 師	
2月25日	光触媒技術と繊維製品への利用	(独)産業技術総合研究所	埴田 博史
	複合繊維素材の染色技術	都立産業技術研究所	藤代 敏

22. 粉末冶金 焼結機械部品の進歩と今後

月 日	科 目	講 師	
2月25日	粉末冶金の現状	都立産業技術研究所	浅見 淳一
	自動車における焼結材料	日産自動車(株)	藤木 章
	原料粉末の進歩	JFEスチール(株)	上ノ園 聡
	焼結機械部品の多様化	日立粉末冶金(株)	石井 啓
	焼結含油軸受の進化	ポーライト(株)	関 三平

23. 薄肉ダイカストの製造技術と勘どころ

月 日	科 目	講 師	
2月26日	より薄く、より強く - 新たな市場を目指す薄肉ダイカスト技術 -	(社)日本ダイカスト協会	西 直美
	薄肉アルミニウム合金ダイカストの湯流れ性と強度特性	都立産業技術研究所	佐藤 健二
	高真空ダイカスト法による自動車部品の開発	日産自動車(株)	神戸 洋史
	ダイカストの超薄肉化技術に関する勘どころ	(株)東京理化工業所	菊池 政男

24. 環境試料分析における前処理と標準物質

月 日	科 目	講 師	
3月4日	環境試料分析における前処理の基礎	都立産業技術研究所	山崎 正夫
	環境試料分析前処理への固相抽出法の応用	(株)ジーエルサイエンス	栗山 達也
	ダイオキシン類分析における前処理	東京都環境科学研究所	佐々木啓行
	環境試料分析における標準物質とトレーサビリティ	(財)化学物質評価研究機構	四角目和広

## 7.11 技術研究会

技術力及び技術開発力の向上をめざす中小企業の技術者と共に技術研究会を設立し、製品開発等、技術情報の交換を積極的に行った。

### 新規に発足した研究会

番号	名称	設立年月	活動目的	企業側総参加者数 (都側)	開催回数
1	CAD/CAM研究会	平成 15年6月	CAD/CAMソフトや各種工作機械に関する情報収集、製品開発における連携推進と技術情報交換	175 (16)	8
2	触覚文字フォアフィンガー研究会	平成 15年7月	浮き出し文字にして表示するための読みやすく触読しやすくしオリジナル書体の開発を行い広く普及させる	34 (4)	4
3	クラスター利用技術研究会	平成 15年9月	クラスター・ナノ粒子の利用技術・評価法等の情報収集、共同研究等の実施。技術力・製品開発力の向上	36 (4)	2

### 既存の研究会

番号	名称	設立年月	活動目的	企業側総参加者数 (都側)	開催回数
1	静電気研究懇談会	昭和 51年4月	静電気に関する技術の向上、研究討論会・発表会の開催、技術資料の収集	15 (3)	1
2	計測制御研究懇談会	昭和 52年12月	計測制御技術の向上、研究発表会・講習会等の開催、情報収集等	238 (41)	22
3	銅合金鋳物研究会	昭和 53年11月	銅合金鋳物に関する技術の向上、研究討論会・発表会・講習会等の開催等	32 (3)	3
4	化学技術研究会	昭和 62年4月	化学技術の向上、相互の技術交換	52 (6)	3
5	静電植毛技術研究会	昭和 62年8月	静電植毛に関する知識と技術の向上、研究討論会等の開催、技術資料の収集	15 (5)	1
6	超音波応用懇談会	昭和 63年3月	超音波及び周辺技術に関する知識と技術の向上、異業種間の交流等	152 (16)	8
7	締結問題研究会	昭和 63年3月	締結部品の製造に関する知識と技術の向上、講習会等の開催、技術資料の収集	32 (14)	3
8	センサ技術応用研究会	平成 元年2月	センサの開発・応用に関する技術の向上、情報交換、講演会等の開催、資料収集	24 (2)	2

番号	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業側総 参加者数 (都側)	開催 回数
9	PC情報研究会	平成 元年7月	パソコンを主体とする情報機器の 高度利用技術の研究、講習会の開 催等	158 (19)	13
10	トライボコーティング技 術研究会	平成 6年11月	表面改質技術及びその評価法につ いての情報収集、情報交換、共同 研究を実施する	173 (24)	5
11	東京都健康・福祉機器産 業化技術研究会	平成 8年4月	健康・福祉に関する機器・用具・ 用品の技術と応用、管理運用につ いて研究	74 (18)	4
12	電気設備技術研究懇談会	平成 9年3月	電気設備，電気応用機器の諸問題 及び業界の技術上の課題等につ いて研究を行う	0 (0)	0
13	粉末冶金技術研究会	平成 9年4月	粉末冶金全般に関する技術につ いて、情報収集、情報交換、共同 研究等を実施	99 (3)	2
14	信頼性技術研究会	平成 9年4月	信頼性技術の向上、研究討論会・ 講演会等の開催、技術情報交換	60 (8)	4
15	制御システム研究会	平成 9年6月	制御システム全般について、製品 開発に必要な技術力向上を目指す ことを目的とする	80 (15)	4
16	制振技術研究会	平成 10年2月	建築物の騒音対策における制振技 術について情報収集、情報交換等 を行う	37 (15)	3
17	繊維製品品質研究会	平成 12年5月	繊維製品を消費科学の立場から研 究し、その品質向上に寄与する	30 (5)	2
18	光交流会	平成 12年8月	オプトエレクトロニクスに興味を 持つ異業種交流団体が、当所を光 情報の交換の場として活動する	40 (2)	1
19	火山灰利用研究会	平成 13年7月	三宅島等の火山灰等を有効利用す るための研究・開発技術および関 連情報の交換を行う	40 (5)	2
20	ユニバーサルファッション 製品の企画開発研究会	平成 13年10月	ユニバーサルファッション製品及 び高齢者対応製品の開発支援・情 報交換を行う	102 (23)	8
21	環境分析研究会	平成 13年11月	環境汚染の浄化及び環境汚染を未 然に防止するための技術について 研究調査する	11 (11)	3
22	東京照射利用研究会	平成 14年1月	放射線照射による滅菌の技術的課 題の検討、医療用具以外への適用 の可能性を調査する	15 (5)	1
23	クリーニング技術研究会	平成 14年2月	クリーニング並びに仕上げ技術の 向上と、各企業の連携強化・情報 交換を行う	17 (1)	1

番号	名 称	設立年月	活 動 目 的	企業側総 参加者数 (都側)	開催 回数
24	照明技術研究会	平成 14年 3 月	照明技術の研究を行うと共に、周辺技術に関する知識の向上のための情報交換を行う	68 ( 27 )	8
25	技術モデル研究会	平成 14年 4 月	技術と経済性の両面からの見地により、効果的な技術モデル作成と検証方法の確立を目指す	0 ( 0 )	0
26	ドライ加工研究会	平成 14年 5 月	ドライ加工に関する最新情報を提供し、無潤滑プレス加工の実用化について検討する	35 ( 8 )	2
27	資源環境技術研究会	平成 14年 5 月	環境汚染防止技術と資源有効利用技術について情報交換を行い、企業の活性化に寄与する	50 ( 18 )	4
28	八王子産地オリジナル製品開発研究会	平成 14年 7 月	八王子産地オリジナル製品開発のためのデザイン情報の交換、販路の開拓等の勉強会を行う	30 ( 7 )	3
29	青梅繊維産業研究会	平成 14年 9 月	青梅の優れた綿製品製造技術を活かし、快適で安全な繊維製品を開発する	0 ( 0 )	0
30	循環型技術研究会	平成 15年 1 月	循環型技術の情報交換や、異業種交流・産学公連携による技術開発の場として活動する	30 ( 3 )	2

## 7.12 技術審査

産業労働局商工部および(財)東京都中小企業振興公社等が実施している中小企業支援の助成事業や科学技術を振興する目的で行う表彰に対し、技術審査の面から協力した。

平成15年度の技術審査の内訳は、書類審査783件、面接審査221名(件)で、総審査件数は1,004件であった。

	審査件名	実施主体	審査件数
1	創造的研究開発認定事業	商工部創業支援課	314
2	創造的技術開発助成事業	商工部創業支援課	72
3	科学技術・発明研究功労表彰	商工部創業支援課	8
4	東京都産学公連携成長企業支援事業	商工部創業支援課	42
5	東京都ベンチャ - 技術大賞	商工部創業支援課	95
6	中小企業経営革新支援事業	商工部経営革新課	11
7	技術・事業革新支援資金融資	商工部金融課	12
8	新製品・新技術開発助成事業	(財)東京都中小企業振興公社	215
9	東京都中小企業振興基金事業	(財)東京都中小企業振興公社	86
10	東京発明展	(社)発明協会	4
11	発明大賞	(財)日本発明振興協会	18
12	その他		127
合 計			1,004

## 7.13 分野別技術支援事業

都内の中小企業団体等の抱える具体的かつ緊急な技術課題に対して、職員が無料で講義・実演等を実施した。参加人数は延べ779人、参加企業数は延べ543社であった。

担当課・室・グループ名	実施回数	主な指導内容
墨田分室	1	染色に関するクレーム事例
八王子分室	4	非破壊によるクレーム解析方法
精密加工技術グループ	3	トライボロジー(ドライ加工の実現)について
情報システム技術グループ	2	「こうすれば自社のHPを検索上位にできる！」(SEOについて)
製品科学技術グループ	5	工業塗装におけるVOC規制の動向と対応
アパレル技術グループ	6	高齢社会対応の環境評価技術の開発について
ニット技術グループ	10	最近の衣料用機能性素材について
テキスタイル技術グループ	13	黄八丈織物の新規デザインと和装市場
計	44	